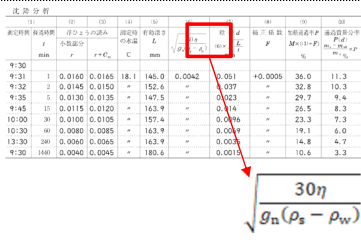


「土質試験 基本と手引き 第三回改訂版」正誤表

2022/5/19 更新
2022/5/31 修正, 2022/7/15追加・修正, 2022/12/14, 23追加

No.	正誤表への追加	正誤の反映(刷り数)	page	行位置	誤	正
1	2022/4/27	2刷	p.5	上から12行目	CBR試験	CBR試験 全角文字⇒半角文字に変更
2	2022/4/27	2刷	p.17	右補足欄 下段	p.16, 図-2.15参照。	p.18, 図-2.15参照。
3	2022/4/27	2刷	p.18	設問3)	・・・現地からおよそ何kgの試料を・・・	・・・現地からおよそ何gの試料を・・・
4	2022/4/27	2刷	p.23	右補足欄 下段	ノギス法の器具は、第14章、第15章の三軸、一軸圧縮試験の・・・	ノギス法の器具は、第13章、第15章の一軸、三軸圧縮試験の・・・
5	2022/12/23	2刷	p.32	上段 データシート記入例抜粋	2mmふるい残留分 m_{0s} のふるい分析	2mmふるい残留分 m_{40} のふるい分析
6	2022/12/23	2刷	p.35	中段 データシート記入例抜粋	2mmふるい残留分 m_{0s} のふるい分析	2mmふるい残留分 m_{40} のふるい分析
7	2022/12/23	2刷	p.36	図-4.6	図中 $\frac{1}{2} \frac{V_B}{A} \times 10$	$\frac{1}{2} \frac{V_B}{A}$ $\times 10$ を省く
8	2022/7/15	2刷	p.36	式(4.5)	$L = L_1 + \frac{1}{2} \left(L_B - \frac{V_B}{A} \times 10 \right)$	$L = L_1 + \frac{1}{2} \left(L_B - \frac{V_B}{A} \right)$ $\times 10$ を省く
9	2022/4/27 (2022/5/31削除)	2刷	p.36	式(4.6)	式の説明 ・粘性係数 η (mPa・s) ・標準重力加速度 g_n ($\approx 9.81 \text{ m/s}^2$)	η の説明として吹き出しで以下の内容を記載する。 「ここでの η の単位は(Pa・s)で表-4.2の値に 10^{-3} を乗じて用いる。」 g_n は(981cm/s ²)に変更。
	2022/5/31 (2022/7/15削除)	2刷	同上	同上	「土の粒度試験」の記載内容の誤りについて(第2報) (https://www.jiban.or.jp/?page_id=17391) と整合させるため6番(追加年月日 2022/4/27) は取り消します。	
	2022/7/15	2刷	p.36	17行目 式(4.6)	$d = \sqrt{\frac{30\eta}{g_n(\rho_s - \rho_w)} \cdot \frac{L}{t}}$	$d = \sqrt{\frac{30\eta}{g_n(\rho_s - \rho_w)} \cdot \frac{L}{t} \times \frac{1}{10^5}}$ 吹き出しで「単位換算のために $1/10^5$ を乗じている。」を記載する
10	2022/5/19	2刷	p.36	表-4.2	温度13℃及び14℃の補正係数Fの値 13℃ 0.0002 14℃ 0.0001	13℃ -0.0002 14℃ -0.0001
11	2022/12/14	2刷	p.36	表-4.2	水の密度の桁数	付録-1に合うす
12	2022/7/15	2刷	p.37	データシート記入例抜粋		$\sqrt{\frac{30\eta}{g_n(\rho_s - \rho_w)} \times \frac{1}{10^5}}$
13	2022/4/27	2刷	p.38	右補足欄 中段	液状化強度についてはp.154を参照する。	液状化強度についてはp.160を参照する。
14	2022/7/15	2刷	p.38-39	下から4行目以降 式(4.10) (4.11) (4.12) (4.13)	$\cdots R(N) \text{は,}$ $R = 3\pi d \eta v$ $\cdots \text{粒子に作用する重力} f(N) \text{は,}$ $f = \frac{\pi d^3}{6} (\rho_s - \rho_w) g_n$ $v = \frac{g_n (\rho_s - \rho_w) d^2}{18\eta}$ $d = \sqrt{\frac{18\eta}{g_n (\rho_s - \rho_w)} \cdot \frac{L}{t}}$ 上式で、d、Lの単位mをmmへ、ρ_s、ρ_wをkg/m³からMg/m³へ、さらにtの単位sをminへ変換すれば粒径dは式(4.6)で求めることができる。	$\cdots R(N) \text{は, 粘性係数を} \eta \text{ (mPa/s) とすると,}$ $R = 3\pi d \eta v \times 10^{-3}$ $\cdots \text{粒子に作用する重力} f(N) \text{は,}$ $f = \frac{\pi d^3}{6} (\rho_s - \rho_w) g_n \times 10^3$ $v = \frac{g_n (\rho_s - \rho_w) d^2}{18\eta} \times 10^6$ $d = \sqrt{\frac{18\eta}{g_n (\rho_s - \rho_w)} \times \frac{L}{t} \times 10^6}$ 上式で、d、Lの単位mをmmへ、tの単位sをminへ変換すれば粒径dは式(4.6)で求めることができる。
					一方、懸濁液内の比重浮ひによる・・・	一方、懸濁液内の浮ひによる・・・ 比重を削除。
16	2022/4/27	2刷	p.39	設問5)	・・・土粒子が15℃の静水中を・・・	・・・土粒子が15.0℃の静水中を・・・
17	2022/12/23	2刷	p.40	図-4.9 データシート中段	中段 2mmふるい残留分 m_{0s} のふるい分析 下段 2mmふるい通過分 m_{1s} のふるい分析	中段 2mmふるい残留分 m_{40} のふるい分析 下段 2mmふるい通過分 m_{1s} のふるい分析

「土質試験 基本と手引き 第三回改訂版」正誤表

2022/5/19 更新
2022/5/31 修正, 2022/7/15追加・修正, 2022/12/14, 23追加

No.	正誤表への追加	正誤の反映(刷り数)	page	行位置	誤	正
18	2022/12/23	2刷	p.40	図-4.10 データシート中段 右下	M の数値 2118	M の数値 2115
19	2022/7/15	2刷	p.40	図-4.10 データシート中段	$\sqrt{\frac{30\eta}{g_n(\rho_s - \rho_w)}}$	$\sqrt{\frac{30\eta}{g_n(\rho_s - \rho_w)}} \times \frac{1}{10^3}$
20	2022/12/23	2刷	p.40	図-4.10 データシート中段	有効深さ L の数値 上から 145.0 152.6 147.5 163.9 157.4 163.9 163.9 180.6	有効深さ L の数値 上から 145.0 148.3 151.5 154.7 158.0 162.3 166.6 172.0
21	2022/12/23	2刷	p.40	図-4.10 データシート中段	粒径 D の数値 上から 0.051 0.037 0.023 0.014 0.0096 0.0069 0.0035 0.0015	粒径 D の数値 上から 0.051 0.036 0.023 0.014 0.0097 0.0070 0.0035 0.0015
22	2022/12/23	2刷	p.40	図-4.10 データシート中段	加積通過率 P の数値 上から 36.0 32.8 29.7 26.5 23.3 19.1 14.8 10.6	加積通過率 P の数値 上から 36.0 32.8 29.6 26.4 23.3 19.0 14.8 9.5
23	2022/12/23	2刷	p.40	図-4.10 データシート中段	通過質量分率 $P(d)$ の数値 上から 11.3 10.3 9.4 8.3 7.3 6.0 4.7 3.3	通過質量分率 $P(d)$ の数値 上から 11.3 10.3 9.3 8.3 7.3 6.0 4.7 3.0
24	2022/12/23	2刷	p.40	図-4.11 データシート中段	沈降分析 粒径の数値 0.051 0.037 0.023 0.014 0.0096 0.0069 0.0035 0.0015	沈降分析 粒径の数値 0.051 0.036 0.023 0.014 0.0097 0.0070 0.0035 0.0015
25	2022/12/23	2刷	p.40	図-4.11 データシート中段	沈降分析 通過質量分率の数値 11.3 10.3 9.4 8.3 7.3 6.0 4.7 3.3	沈降分析 粒径の数値 11.3 10.3 9.3 8.3 7.3 6.0 4.7 3.0
26	2022/4/27	2刷	p.42	下から7行目	⑧含水比測定器具：第3章2.1 (p.18) 参照。	⑧含水比測定器具：第3章2.1 (p.20) 参照。
27	2022/4/27	2刷	p.46	右補足欄 中段	液性指数は…把握することが出来る (p.156, 図-15.10参照)。	液性指数は…把握することが出来る (p.128, 図-13.10参照)。

「土質試験 基本と手引き 第三回改訂版」正誤表

2022/5/19 更新
2022/5/31 修正, 2022/7/15追加・修正, 2022/12/14, 23追加

No.	正誤表への追加	正誤の反映(刷り数)	page	行位置	誤	正
28	2022/12/23	2刷	p.46	本文下から2行目	細粒土では粘土分含有率 P_c が高くなれば・・・	細粒土では粘土分含有率が高くなれば・・・ P_c を省く
29	2022/12/23	2刷	p.46	図-5.12 グラフ横軸名称	2 μ m以下の粘土分含有率 P_c (%)	2 μ m以下の粘土分含有率(%) P_c を省く
30	2022/4/27	2刷	p.53	本文下から1行目	・・・さらに細粒分, 砂分の含有率によって・・・	・・・さらに細粒分, 礫分の含有率によって・・・
31	2022/4/27	2刷	p.66	図-7.6 データシート	乾燥密度 g/cm^3	Mg/m^3
32	2022/4/28	2刷	p.99	下から4行目	スタンドパイプの断面積(mm^2)	スタンドパイプの断面積(mm^2)
33	2022/12/14	2刷	p.99	右補足欄 上段	「p.104, 図-11.16参照」の位置	左に詰める
34	2022/5/18	2刷	p.110	式(12.4)	$H_s = \frac{m_s}{\rho_s A} = \frac{m_s}{\rho_s \pi D^2/4}$	$H_s = \frac{m_s}{\rho_s A} \times 10^3 = \frac{m_s}{\rho_s \pi D^2/4} \times 10^3$
35	2022/4/28	2刷	p.121	図-12.25 計算書の記入例 特記事項欄内の式	$m_v = (\Delta \varepsilon / 100) / \Delta p$	$m_v = \Delta \varepsilon / \Delta p$
36	2022/5/18	2刷	p.121	図-12.25 計算書の記入例 特記事項欄内の式	$H_s = m_s / (\rho_s A)$	$H_s = m_s / (\rho_s A) \times 10^3$
37	2022/4/27	2刷	p.122	式(13.1)	$\tau_f = c + \sigma \tan \phi$ (13.1)	$\tau_f = c + \sigma \tan \phi$ 式番号削除
38	2022/4/27	2刷	p.125	下段の図 (データシート記入例)		
39	2022/4/27	2刷	p.130	図-13.13 データシート下段 特記事項 式	$\sigma = \frac{P}{A_0} (1 - \varepsilon / 100) \times 10$	$\sigma = \frac{P}{A_0} (1 - \varepsilon / 100) \times 10^3$
40	2022/4/27	2刷	p.137～	式番号	式 (14.2) ... 式 (14.12)	式 (14.1) ... 式 (14.11) 式番号の繰上げ
41	2022/4/27	2刷	p.158	設問8)	モール・クーロンの破壊規準と・・・	三軸CD試験でのモールクーロンの破壊規準と・・・
42	2022/4/27	2刷	p.159	図-15.19 データシート	図表中(右から2列目)単位 u kN/m^2 または $ΔV$ cm^3	
43	2022/4/27	2刷	p.159	図-15.19 データシート下段 特記事項 2)式	主応力差を求める式 2) UU, CU, $\overline{CU}$: $\sigma_a - \sigma_r = \frac{P}{A_c} (1 - \varepsilon_a / 100) \times 10$ CD: $\sigma_a - \sigma_r = \frac{P (1 - \varepsilon_a / 100)}{A_c (1 - \varepsilon_v / 100)} \times 10$	主応力差を求める式 2) UU, CU, $\overline{CU}$: $\sigma_a - \sigma_r = \frac{P}{A_c} (1 - \varepsilon_a / 100) \times 10^3$ CD: $\sigma_a - \sigma_r = \frac{P (1 - \varepsilon_a / 100)}{A_c (1 - \varepsilon_v / 100)} \times 10^3$
44	2022/12/14	2刷	p.185	データシート データシート右側上段 データシート中段上 データシート下段上	・文字の重なり ・2mmふるい残留分 m_{0s} ・2mmふるい通過分 m_{1s}	・文字の重なりを修正 ・2mmふるい残留分 m_{s0} ・2mmふるい通過分 m_{s1}
45	2022/7/15	2刷	p.187	データシート データシート中段 式	$\sqrt{\frac{30\eta}{g_n(\rho_s - \rho_w)}}$	$\sqrt{\frac{30\eta}{g_n(\rho_s - \rho_w)}} \times \frac{1}{10^3}$
46	2022/4/27	2刷	p.201	データシート	乾燥密度 g/cm^3	Mg/m^3
47	2022/5/18	2刷	p.229	データシート データシート下段 特記事項	$H_s = m_s / (\rho_s A)$	$H_s = m_s / (\rho_s A) \times 10^3$
48	2022/4/28	2刷	p.229	データシート データシート下段 特記事項	$m_v = (\Delta \varepsilon / 100) / \Delta p$	$m_v = \Delta \varepsilon / \Delta p$
49	2022/4/27	2刷	p.235	データシート 下段 式	$\sigma = \frac{P}{A_0} (1 - \varepsilon / 100) \times 10$	$\sigma = \frac{P}{A_0} (1 - \varepsilon / 100) \times 10^3$

「土質試験 基本と手引き 第三回改訂版」正誤表

2022/5/19 更新
2022/5/31 修正, 2022/7/15追加・修正, 2022/12/14, 23追加

No.	正誤表への追加	正誤の反映(刷り数)	page	行位置	誤	正
50	2022/4/27	2刷	p.243	データシート	単位 u kN/m ² または ΔV cm ³	4/4